

第8期行田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 重点目標に係る各事業の概要

重点
1

通いの場の拡充（週1回以上活動の場）

目標値 3年間で120か所増やす

重点
2

ご近所型介護予防事業（100歳体操）の推進

目標値 3年間で実参加者600人

計画上に記載の
通いの場の定義

○シニアクラブ・いきいきサロン、スポーツ・文化活動サークル、ボランティアサークルなど週1回以上活動の場であり、年齢やグループ、サークル等の規模は問わない

重点目標1、2関係事業の概要

楽々グラウンドゴルフ事業

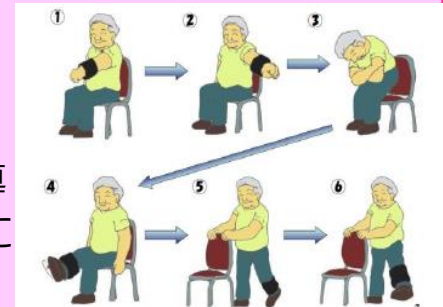
- グラウンドゴルフに親しみ、地域で継続実施してもらうべく、市内2か所にコースの設置と物品を準備し、自由にプレーしてもらう
- 門井球場、富士見球場に設置
- 毎週木曜日、午前9時から午後2時まで開放

※高齢者福祉課、生涯学習
スポーツ課、いきいき財団
との共同事業



ご近所型介護予防事業

- おもりを用いた6つの体操を、地域の通いの場で定期的に実施（週1回）
- 開始から3か月間で5回の訪問支援（リハビリ専門職、地域包括支援センター、市）
- 事業開始時、3か月後、半年後に体力測定
- 今年度モデル団体で実施（2団体）
- おもりの貸し出し、参加者テキスト・指導DVD・記録表を団体に提供



第8期行田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

重点目標に係る各事業の概要

重点
3

認知症ボランティアの養成と活動推進

目標値

3年間で実活動人数200人

重点目標3 関係事業の概要

認知症サポーター養成講座

- 認知症の正しい知識や対応方法を学ぶ講座
- 2か月に1度の定例の他、団体要請で実施
- 小中学校や企業、警察などでも開催
- 講座受講者には、オレンジリングとサポーター証を配布

認知症地域支援推進員

- 保健師や社会福祉士、介護支援専門員などがなれ、各地域包括支援センター、市に配置（9名）
- 認知症の相談支援、サービス調整等
- 医療・介護のネットワークの形成や相談支援体制の構築などを図る
- 各地域の認知症施策、事業の企画・調整も実施
- 毎月定例で、関係者での事例検討、事業検討など多岐に渡る内容で会議を実施

認知症カフェ

- 認知症当事者・家族が交流する場、地域住民が認知症の理解を深める場
- 内容は多岐に渡り、交流、認知症予防講座、体操、脳トレ、レクリエーションなど
- 市内8か所に設置し、各所毎週1回開催

徘徊模擬訓練

- 地域で実際に徘徊が発生したことを想定し、捜索方法と徘徊者への声掛け、保護などの対応方法を学ぶ
- 地域で訓練を実施することで、認知症の正しい知識の普及を図り、地域での見守りと支え合い、関係機関との連携を図る

第8期行田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 重点目標に係る各事業の概要

重点
4

介護人材の確保

目標値

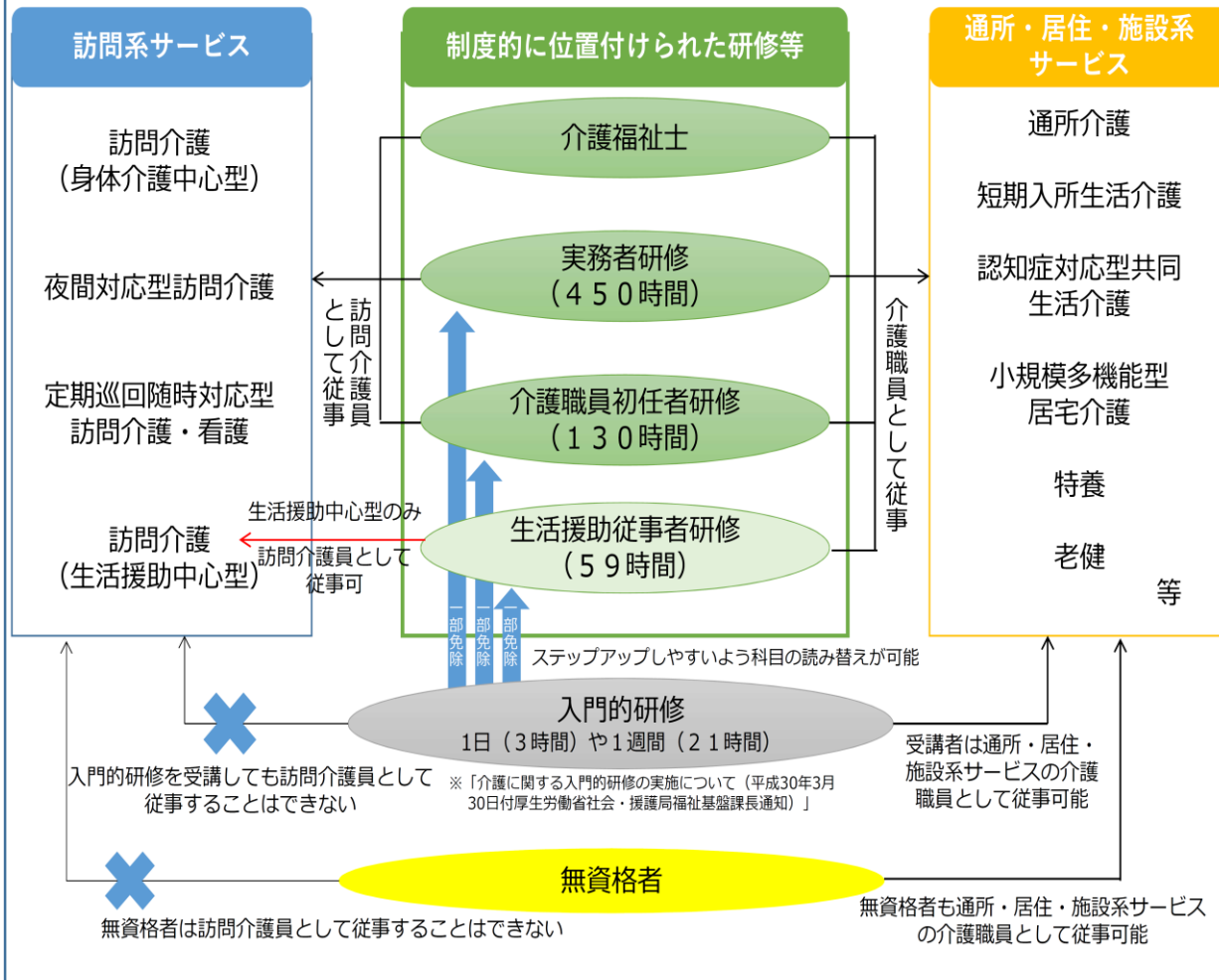
3年間で30人市内介護事業所への採用につなげる

研修目的

介護に関心を持つ介護未経験者に対して、介護の業務に携わる上での不安を払拭するため、基本的な知識を研修することにより介護分野への参入を促進する。

介護の入門的研修の概要

入門的研修と各種研修等との関係



研修 (4日間) の予定

日数	項目
1日目	<ul style="list-style-type: none"> 介護に関する基礎知識 介護の基本
2日目	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な介護の方法 (老化に伴う心と体の変化、生活支援技術)
3日目	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な介護の方法 認知症の理解
4日目	<ul style="list-style-type: none"> 障害の理解 介護における安全確保
合計	21時間